

タイトル～<全日遊連営業店舗推移>～2018年の懸念は「400万台」割れ!?

■2017年・【全日遊連店舗数推移】の発表。

先日、「2017年12月末現在」の、全日遊連加盟店舗数が発表になりました。結果は「営業店舗数=9,681店舗」となり、前年対比ですと、「営業店舗数=マイナス330店舗」と言う結果に成りました。まあ、動向としては『想定範囲の結果』とも言えますし、『そんな感じだね』とも体感できると思います。

以下に、ここ【10年間のデータ推移】を記しておきます。さて、このデータから、何を読み解きましょうか!?

<全日遊連営業店舗の推移>

※平成29年末の数値は、「12月末」現在の数値です。

年度	営業店舗数			新規店舗数	廃業		年末設置台数(万台)			1店舗台数		参加人口 (万人)		
	1月1日	⇒	12月31日		店舗差	店舗数	対新倍率	P	S	合計	台数		増減	
平成19年	2007年	⇒	12,503	***	330	1,299	394%	276	154	430	344	***	1,450	
平成20年	2008年	12,503	⇒	11,964	-539	279	911	327%	283	138	421	352	8	1,580
平成21年	2009年	11,964	⇒	11,672	-292	247	532	215%	293	127	420	360	8	1,720
平成22年	2010年	11,672	⇒	11,522	-150	249	398	160%	293	128	421	365	6	1,670
平成23年	2011年	11,522	⇒	11,314	-208	197	332	169%	286	135	421	372	7	1,260
平成24年	2012年	11,314	⇒	11,177	-137	207	362	175%	280	144	424	379	7	1,110
平成25年	2013年	11,177	⇒	10,953	-224	195	434	223%	276	148	424	387	8	970
平成26年	2014年	10,953	⇒	10,661	-292	173	426	246%	270	151	421	395	8	1,150
平成27年	2015年	10,661	⇒	10,325	-336	148	507	343%	265	152	417	404	9	1,070
平成28年	2016年	10,325	⇒	10,011	-314	98	403	411%	257	153	410	410	6	940
平成29年	2017年	10,011	⇒	9,681	-330	123	452	367%	250	156	406	419	10	
平成30年	2018年	9,681	⇒	9,300	-381	100	450	450%	249	150	399	429	10	

※2018年1月10日現在、一般社団法人健全化推進機構の賛同登録店舗数は、「10,673件」となります。

※よって、全日遊連加盟店舗は、全国1,000店舗程度が非加盟であり、全国市場には加算されます。

※参加人口は、「(財)日本生産性本部発行レジャー白書資料」からの参照です

※ちなみに、「2018年の推移」は、あくまでも私の「ザックリ予想数値」ですので、悪しからず(汗

■最初に注意する事は、「全国のパチンコ店では無い」と言う事。

上記表はあくまでも【全日遊連加盟】の店舗数であり、「全国の全て」ではありません。現実には『約1,000店舗程は、組合加盟していません』ので、店舗数・設置台数共に「約10%程度上乗せ」しなくては本来の正確性に欠けます。しかしながら、全国【全体の90%の推移】は正確であり、平均値においても正確な数値と捉えて良いでしょう。

■10年間の【3つの数値推移】。

1つ目は【①:店舗数推移】、2つ目は【②:台数規模推移】、3つ目は【③:1店舗台数増減値】になります。

では、それぞれを検証してみましょう。

●【店舗数推移】…ご覧の通り、「毎年マイナス推移」となっています。「2008年は12,503店舗」からスタートして、10年後の今年、「2018年は9,681店舗」。結果『2,822店舗の実減少=22.6%の減少率』となりました。つまりここ10年間では『5店舗に1店舗閉店している』くらいの状況ですね。ちなみに、全国(全日加盟だけでは無い)のパチンコ店法人数は、概ね「3,800社から3,300社に減少した」と言われています。

<前年2016年対比>で見ると、新規店舗数は25店舗の増加ですが、いかんせん閉店店舗が49店舗増加と言う実数になります。しかし「**廃業店舗÷新規店舗**」倍率を見ると、2016年よりは『**淘汰は減速している**』とも言えます。「営業店舗数に減少」よりも、「廃業店舗数の状況」の推移が、今後どうなるのか?が気になるところです。

●【**台数規模推移**】・・・パチンコは「276万台⇒250万台(-9.4%)」、スロットは「154万台⇒156万台(+1.3%)」、合計では「430万台⇒406万台(-5.6%)」となります。

「営業の戦術は遊技機次第」と言う事も鑑みると、「PS比率」はその時々で変化する事になりますが、少なくとも「遊技機全体」としての設置台数は、パチンコ参加人口の推移から想像しても、『5.6%は少ない』と言えるでしょう。

※<参加人口>(レジャー白書資料参照) ※注;2009年(平成21年)からネット調査に変更

「2007年=1,450万人」⇒「2009年=1,720万人」⇒「2013年=970万人」⇒「2016年=940万人」

ここ10年での推移は、なんと「-35.2%」。参加人口は「約2/3」に減少している事になります。

その結果として(活動回数の観点はありませんが・・・)、稼働時間(アウト数)が減少する事は、必然の流れとも言えます。簡単に言えば『お客の数は減ったけど、遊技機の台数は減っていない』と言う事になりますね。

直近「2018年を語る」には、『この【**全日遊連・台数規模の推移**】が、**400万台を割るのかどうか?**』には注目せざるを得ません。

全国の「台数規模が減少する」と言う事は、機器メーカー側から見たら、一瞬「イヤな事」かもしれませんが、一概にそうとも言えません。これはホール側にとっても同じ事かもしれませんが・・・

前述した様に、参加人口が減っている今、**台数規模が減る事は、単純に『台当りの稼働が良くなる』と言う事に繋がります**。それにより、店舗の営業はやり易くなり、粗利の安定化も図り易くなります。その結果「投資にも回せる=遊技機も変える」事に繋がります。あくまでも可能性の話ですが、『このまま設置台数規模が減少して行くと、どこかで**店舗数の減少が下げ止まる**』・・・なんて事を妄想してる私です(汗

昔々の話で恐縮ですが、**パチンコ業界の古き時代は「〇〇県は320台の上限規制」と**かありましたよね。

●【**1店舗台数増減値**】・・・過去10年において『**初めて10台増になった**』事が見てとれます。約1万店舗の「平均が10台増加」って、とんでもない数値ですよええ～(※表実数では9台ですが、四捨五入表記している表示です。)【平均が10台増加している】と言う事は、ザックリとしたイメージですと、【100店舗規模エリア(県)】において・・・

(1):「**400台の1店舗が閉店して、1,400台の新店が出来る**」と言う事です。もしくは・・・

(2):「**400台店舗が5店舗閉店(-2,000台)して、750台店舗が4店舗増えた(+3,000台)**」

・・・ってな感じのイメージですね。どうでしょう?皆様のエリア(県・地域)でも、こんな感じでしょうか?

これは、一概に「店舗が大型化している傾向だ」とも言えますが、その言い回しも、また微妙です。

・・・と言うのは、『**廃業店舗と比較して新規店舗は台数規模が大型化している**』のは現実ですが、新規店舗に限っては、ここ最近の『**新規店舗の平均設置台数は、一時よりも少なくなっている**』とも言われています。

上記(1)と(2)であれば、ちょっと前は(1)タイプで、**最近(2)の様な傾向!**?・・・なのかもしれませんね。

そして【この数値の増加】が意味するモノとは・・・

「大型店舗出店が増えている」と言うよりも、『**小規模店舗の廃業が加速している**』と言えます。

今回は【10年単位の推移】を検証してみました。無論「前年対比も見ておく必要もある」とは思います。

しかし今後【3年後の未来像】を語る時には、この「10年推移」も加味して想定する事は必要かもしれませんね。

だからこそ、「3年後に生き残っている」店舗・法人であるべきであり、その戦略・戦術を模索しなければなりません。

<このコラムは、**フリーコンテンツ** に該当しております。情報共有可としますが、転載・改ざん等はお控えください>

<また、文章・資料等の所有権は、「有限会社トータル・ノウ・コネクションズ」に帰属いたします>

TKC～【法人セミナー】のご案内

「TK高橋の千里眼セミナー」ですが、基本的に「単一法人様での勉強会」となります。

各法人様の意向を踏まえ、内容はカスタマイズさせていただきます。

※組合様等の場合、内容にて摺り合せが必要な場合がございますので、ご相談させていただきます。

<日 時>:ご依頼会社様の希望とのご相談の上、決定させていただきます

<場 所>:ご依頼会社様にて、手配をお願い致します。

※関西エリアにおいては「大阪元町・スリーストーン大阪営業所」開催は可能(概ね15名まで)

<時 間>:「1日＝4～5時間」が基本となります。(休憩含む拘束時間です)

<費 用>:基本価格～「1日当り＝15万円」となります。(※只今、「TKC会員様＝10万円」となります)

<内 容>:ご依頼会社様とのご相談の上決定させていただきます。

※基本的に、「業界情報」・「パチンコ運用」・「店舗全体運営」の内容が中心となります。

※「業界動向セミナー」は、逐次必要なタイミングにての開催を推奨いたします。

※「パチンコ運用セミナー」は、2回～3回(月1回)の連続開催を推奨いたします。

<その他>:交通費(長野県長野市から)・宿泊費は別途請求となりますのでご了承くださいませ。

～<セミナーのカスタマイズ>について～

⇒【勉強会開催において、多岐に渡るセミナー内容を同時開催したい場合】等。

弊社内容の他、「スロット運用」・「マーケティング情報」等々、内容のご希望がありましたらご相談下さい。

同日(または別日)、別コンテンツの専門的講師の推薦紹介させて頂き、同時(別日)開催となります。

(※この場合、別途講師費用と諸経費が加算されますので、ご了承くださいませ)

<お問い合わせ>

弊社代表「高橋正人」まで、ご連絡下さいませ。

【メールアドレス】:info@tkc-g.jp

【電話連絡】:(会社)026-256-9677 (携帯)090-3063-1757

有限会社 トータル・ノウ・コネクションズ

住所:長野県長野市南堀530-5

TEL:026-256-9677 FAX:026-256-9688

ホームページ <http://www.tkc-g.jp>

メールアドレス info@tkc-g.jp
